

「需要の状況」の見直し

経緯

- 売上高の背景にあるサービスの量的変化の把握について、生産量を産業ごとに把握することは困難なため、代替措置として需要の増減状況を需要動向(DI)として把握することとした(25年1月～)

考察

- 「需要の状況」の回答状況から、他の項目に比べ客体の記入率が低く、記入がしにくい状況
- 記入内容を見ても、DIの動きは売上高を前月と比べた感覚的な回答となっている模様
- 企業ヒアリングの結果から、「量」ベースの「需要の状況」を的確に回答いただくことは、困難な見込み
- e-Statにおける「需要の状況」の結果表のダウンロード数は他の項目に比べ低い状況

見直し案

- 現行の方法による「需要の状況」の把握及び需要状況DIの公表は、29年1月から取りやめ
- 備考欄(状況変化等の自由記述欄)については、調査票の審査に活用する観点から継続



「需要の状況」の見直し

前回(第17回)研究会でのご意見

- サービスの価格差が何%だったか、実数化することができれば、本来の目的に近づける
- 量的変化を見るには、人員の変化を見ていくのが一つの方法
- サービス業の価格と質はどうにかして把握したいという点は変わらない
- 「主要なサービス」という聞き方では答えられないかもしれない。「御社の数量的な成長はどうか」という聞き方のほうがいい
- 業種間の差異があるため、個別のメニュー等の売上げについては聞きづらいが、一歩引いて見るとこういった聞き方があるといった工夫はできるのではないか

今後の方針

- 平成29年1月からの調査に関しては、3ページ以降の調査票(案)で実施
- 需要の量的変化の把握方法については、研究会でいただいたご意見を踏まえつつ、平成28年以降も研究を継続

総務省統計局

20 年 月分とその前月分について記入してください

調査票の内容について 照会する場合がありますので 記入をお願いします。

所属部署名
記入者氏名
電話番号 () - (内線:)

1. 貴社(団体等)の月間売上高

税抜き 原則税込みで記入してください。ただし、会計処理上税込みで記入することが困難な場合は税抜きで記入し、内にレを記入してください。

・黒又は青のボールペンなどで、はっきり記入してください。
・記入した内容を訂正する場合は、二重線で消し、正しい内容を記入してください。

1.(1) 事業活動の内容	1.(2) 売上高(収入額)	【備考欄①】
※今月以降実施しない事業活動については、事業活動名を二重線で消し、備考欄②に状況について記入してください。	※金額は、千円未満を四捨五入し記入してください。 ※一時的に売上高がない場合は、売上高を「0」とし、備考欄②にその状況について記入してください。	売上高について、前年同月と比べて大きく増加/減少した場合は、具体的理由を記入してください。前年同月で比較できない場合は前月との比較を記入してください。
1	百億 億 百万 万 , , , ,000円	
2	百億 億 百万 万 , , , ,000円	
3	百億 億 百万 万 , , , ,000円	
4	百億 億 百万 万 , , , ,000円	
5 其他 ※1~4以外の事業活動について ご記入ください。またその内容を備考欄②にご記入ください。	百億 億 百万 万 , , , ,000円	【備考欄②】 貴社(団体等)について大きな変化があった場合は、その状況を記入してください。
企業全体(合計) ※合計欄は空欄にせず企業全体の合計金額をご記入ください。	百億 億 百万 万 , , , ,000円	1 今月他社(団体等)との合併があった 2 今月分社化(法人の分割)があった 3 今月資本金の変更があった

2. 貴社(団体等)の月末の事業従事者数(月末に最も近い営業日の状況を記入してください。) ※該当する従事者がいない場合は空欄にせず、「0」とご記入ください。

2.(1) 貴社(団体等)に所属する従業者数(出向又は派遣として他の企業などで働いている人は含みません。)					2.(2)	
① 有給役員	常用雇用者 ② 正社員・正職員 などと呼ばれている人	③ ②以外の人 (パート・アルバイトなど)	④ 臨時雇用者 (③以外のパート・アルバイトなどを 含む)	総数 (①~④の合計)	2.(1)のほかに他の企業など からきて(出向又は派遣) 貴社(団体等)で働いている人	
人	人	人	人	人	人	人



◇「調査票」を記入する前に、よくお読みください。

この調査の対象範囲は、**貴社が企業グループの会社企業の場合、単体の会社企業を対象とし、連結子会社は含みません。**

「1. (2) 売上高(収入額)」について

- 売上高(収入額)とは、貴社(団体等)において**サービス等を提供した対価として得られたもの**で、仕入高や給与などの**経費を差し引く前の金額**をいいます。
- 「企業全体(合計)」欄の売上高(収入額)と事業活動の内容1~5の売上高(収入額)の合計について、事業活動間での取引がある等のため同額とならない場合は、「5 その他」欄の額を調整し、同額となるように記入してください。

売上高(収入額)に含めるもの

- 受託販売 … 販売手数料収入
- 委託販売 … 委託先で販売した**実際の販売額**
- 不動産代理業・仲介業 … 代理手数料収入、仲介手数料収入など
- 取次業 … 取次手数料収入(クリーニングや写真(現像・焼付・引伸)などの取次手数料)
- 自家消費・贈与 … 商品や製品などを自家用に消費したり他人に贈与した場合には、**金額に換算した額**
- 医療業・介護事業 … 医療保険・介護保険からの**受取保険料、利用者の自己負担**など
- 共済組合、年金基金などの**社会保険事業団体の給付事業** … 事務手数料収入など
- **会社以外の法人及び法人でない団体** … 事業活動によって得た収入
 「**会社以外の法人**」とは、社団・財団法人、医療法人、特殊法人などのように、会社以外で法人格を持っている団体のことをいい、**国及び地方公共団体**も含まれます。
 「**法人でない団体**」とは、協議会、管理組合などのように、団体であるが法人格を持たないものをいいます。
 注)回答時に、正確な売上高(収入額)がどうしても把握できない場合は、概算額を記入してください。

売上高(収入額)に含めないもの

- 預金・有価証券などから生じた**事業外の利子・配当収入**
- **事業外**で**有価証券、土地や建物などの財産(資産)**を売却して得た収入
- **借入金、繰越金**
- **会社以外の法人及び法人でない団体**における**事業活動を継続するための収入**(運営費交付金、寄付金、献金、補助金、会費、会員の負担金など)
 注)この調査票では、**事業活動を継続するための収入については売上高(収入額)に含めません。**

売上高(収入額)の計上時点について

- **売上高(収入額)は、代金を受領した月ではなく、サービス等を提供した月に計上してください。**
 注)ソフトウェア開発などの長期にわたる事業については、進行状況に応じて計上してください。
- 売上高(収入額)は、**月初めから月末までの1か月間**の金額を記入してください。やむを得ない場合は、一定の日を定めてその日から1か月間の金額を記入することは差し支えありませんが、翌月以降の調査票においても同一の期間で記入してください。

【備考欄①】について

- **【備考欄①】**には貴社(団体等)が行っている事業活動において、売上高(収入額)が前年同月と比べて大きく増加または減少した**具体的理由**を記入してください。前年同月と比較できない場合は前月と比較し売上高(収入額)の増減理由を記入してください。
 記入例: 宣伝広告を出したことにより前年同月と比べ契約数が増えた。/天候の影響により前年同月と比べ利用者数が増えた。/1年前より人員を増やし販売促進に注力した。

「2. (1) 貴社(団体等)に所属する従業者数」について

- 「**① 有給役員**」とは、個人経営以外の場合で、役員報酬を得ている人をいいます。
- 「**常用雇用者**」とは、以下の要件のいずれかに該当する人をいいます。
 ・雇用期間を定めずに雇用している人 ・1か月を超える雇用期間を定めて雇用している人 ・当月とその前月にそれぞれ18日以上雇用している人
- 「**② 正社員・正職員などと呼ばれている人**」とは、常用雇用者に該当する人のうち、一般に正社員・正職員などと呼ばれている人をいいます。
- 「**③ ②以外の人(パート・アルバイトなど)**」とは、常用雇用者のうち、一般に嘱託、パートタイマー、アルバイト、又はそれに近い名称と呼ばれている人をいいます。
- 「**④ 臨時雇用者(③以外のパート・アルバイトなどを含む)**」とは、常用雇用者以外の雇用者で、1か月以内の期間を定めて雇用されている人や、日々雇用されている人をいいます。

「2. (2) 2. (1) のほかに他の企業などからきて(出向又は派遣) 貴社(団体等)で働いている人」について

- 「**2.(1)のほかに他の企業などからきて(出向又は派遣)貴社(団体等)で働いている人**」とは、労働者派遣法という派遣労働者のほかに、在籍出向など出向元に籍がありながら、貴社(団体等)で働いている人をいいます。